

全国学力・学習状況調査の結果から

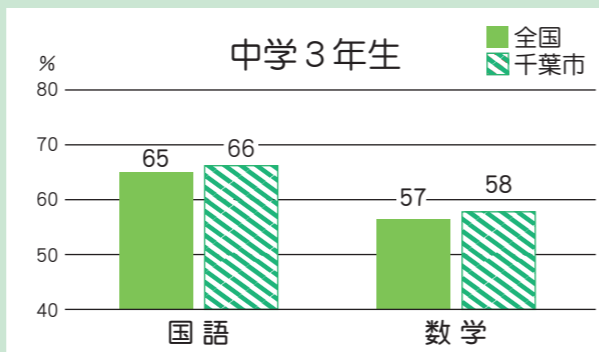
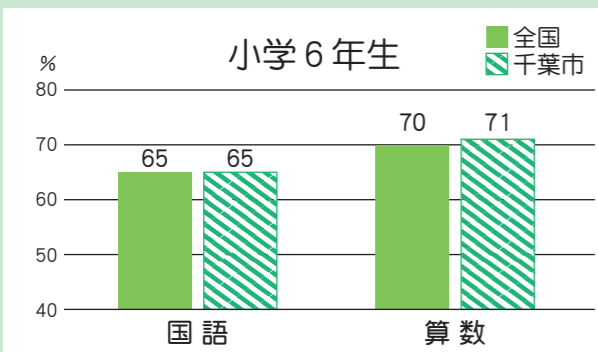
「全国学力・学習状況調査」は、全国的に子どもたちの学力状況を把握するために、文部科学省が毎年実施しています。本年度は小学6年生と中学3年生を対象に、国語、算数・数学の教科に関する調査と、児童生徒質問紙調査を行いました。調査結果は、ホームページでも公開しています。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため全国で実施していません。

① 教科に関する調査の結果

千葉市の平均正答率は、小学生、中学生共に全国（公立）の平均正答率とほぼ同等か上回る結果となりました。

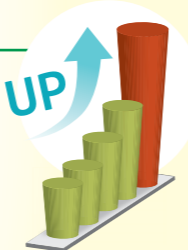
全国との平均正答率の比較



さらなる学力アップに向けて

教育委員会 各教科の指導を改善していくための方向性やポイント等を示した資料を作成し、教員の指導力を一層高めていきます。

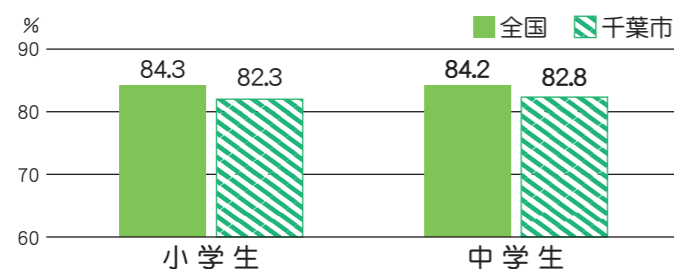
学校 自校の児童生徒の実態や調査結果の分析を基に傾向や課題を把握し、「学力向上アクションプラン」の見直しを行い、重点テーマを設定するなどして授業改善を進めていきます。



② 児童生徒質問紙調査の結果

自己肯定感、将来の夢や目標等に関する意識

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」という質問に肯定的に回答した割合



「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」と肯定的に回答した割合は、小学生が82.3%、中学生が82.8%でした。全国平均よりはやや低い結果ではありますが、小・中学生共に8割を超えています。

今後も学校生活において、目標を明確にして取り組む機会や、計画を立てて実行するような機会を増やし、夢や目標の達成に向けて、主体的に取り組もうとする子どもを育てていきます。

上記以外の質問紙調査の結果から、千葉市の子どもたちは「1日1時間以上読書をしている」「授業でのコンピュータの活用を感じている」等について肯定的な回答をしている割合が高いことがわかりました。各教科の分析や考察を生かして、学校と教育委員会が一丸となって、授業改善に取り組み、「わかる授業」を推進していきます。



③ 課題が見られた設問例

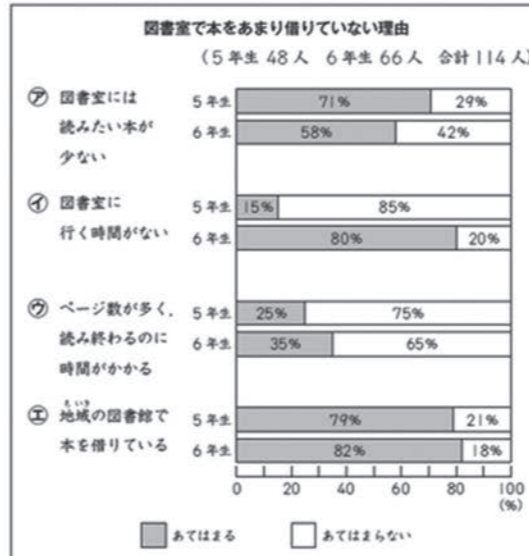
小学校算数問題

【複数のデータにおける各項目の特徴や傾向の読み取り】

ひよりさんたちは、読書が好きなのに、図書室で本をあまり借りなかった114人に着目しました。

図書室で本をあまり借りていない理由について、5年生と6年生で、ちがいがあがるのでしょうか。

そこで、114人分のアンケート調査の結果を、5年生と6年生に分けて、下のグラフに表しました。



ひよりさんたちは、上のグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

そうたさんとあやのさんは、上のグラフの中の②から④までの4つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。

5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。

5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

上のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

正答例

5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合の違いが、いちばん大きい項目は、「②図書室に行く時間がない」です。5年生が15%で、6年生が80%です。

このような問題では…

自分たちが出した結論について多面的に捉え考察できるようにすることが重要です。そのためには、複数のデータから項目間の違いに着目し、データの特徴や傾向を読み取ることができるようになることが大切です。

【日常的な事象における数学的な問題解決の方法の説明】

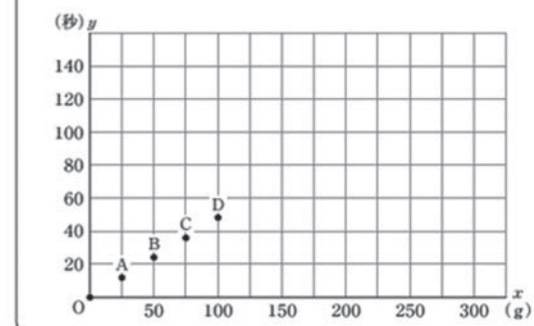
学級委員の健斗さんは、2分間スピーチの時間をはかるための砂時計をペットボトルで作りました。その砂時計は、ペットボトルに砂を入れ、砂を通すための穴をあけた厚紙をペットボトルの間にはさんで作ります。

健斗さんは、ペットボトルに入れる砂の重さを決めると、砂が落ちきるまでの時間が決まると考えました。そこで、砂の重さがxgのときに、砂が落ち始めてから落ちきるまでの時間をy秒として調べ、その結果を、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。



調べた結果

砂の重さ x (g)	0	25	50	75	100
砂が落ちきるまでの時間 y (秒)	0	11.9	24.2	36.0	48.3



健斗さんは、2分をはかるために、砂時計に必要な砂の重さを調べます。

そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点と同じ直線上にあると考えることにしました。

このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。

正答例

- 原点Oを通る直線のグラフをかき、 $y=120$ のときのx座標を読む。
- yをxの比例の式で表し、その式に $y=120$ を代入し、xの値を求める。
- 表の数値を用いて比例定数を調べ、その比例定数で砂が落ちるまでの時間が120秒になる砂の重さを計算する。

このような問題では…

他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったりする上で、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりすることが大切です。その際、「用いるもの」(表、式、グラフ)を明確にした上で、その「用い方」(xとyの関係式にある値を代入して求めるなど)の2つの事項について記述することが大切です。

出典：「令和3年度 全国学力・学習状況調査 小学校算数調査問題、中学校数学調査問題」 ※問題は紙面の都合上、一部編集しています。



学力向上のためには、家庭での過ごし方も重要です！

規則正しい生活や、家族とのふれあいや会話が子どもたちの心身ともに健やかな成長を促します。また、子どもたちの良いところをたくさんほめることも大切です。